

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民ギャラリー展示事業			会計	款	項	目	大	事	小
				01	10	05	01	05	04	
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課					
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	鑑賞だけでなく、参加型の活動を促進し、市民の文化活動の振興を図る。
事業内容	毎月、市役所の市民ギャラリーを利用し、絵画や書道、写真、俳句などの展示を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 市の直営事業を平成19年度からアウトソーシングし、企画運営を委託で行っている。 本事業は平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	出展数	315	356	284	点	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度	絵画や書道、写真、俳句など様々なジャンルの作品を市民ギャラリーに展示することで、市役所を訪れる市民の目を楽しませている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		653,324	650,264	647,864				
事業費(b)(円)		516,024	516,024	516,024				
うち一般財源		516,024	516,024	516,024				
職員給与費(c)(円)		137,300	134,240	131,840				
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	展示内容のマンネリ化を防ぎ、新たな文化芸術団体の発掘に努める。	③取組における課題(Check)	引き続き（左に同じ）
②H30に実施した取組(Do)	多様な分野の作品を展示し、来庁者の目を楽しませた。また、昨年度に引き続き、市内中学校からの作品募集も実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	新たな文化芸術団体の発掘や展示期間の調整に努める。